



山元発第 451 号
平成19年 5月 8日

国土交通省道路局長 殿

宮城県亶理郡山元町長 大條 修也



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について (回答)

平成19年 4月 2日付け国道企第114号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたしますのでよろしくお取り計らい願います。

担当 山元町役場 まちづくり整備課

TEL 0223-37-5111

FAX 0223-37-4144

中期的な計画の作成に当たっての意見について

平素よりわが町の道路行政の推進につきまして格別のご高配を賜り衷心より深く感謝申し上げます。

道路は、地方に住む人々の生活を支え地域の交通の円滑化に資するほか、地方農産物の都市部への輸送や都市住民の自然との触れ合いのための通行など、都市部と地方部の交流・交易活動を支えるとともに、産業・経済・文化などあらゆる分野の振興と地方の自立発展を図るうえで最も基本的な社会基盤であり、その必要性はますます大きくなっているところであると考えております。

本町は、宮城県の東南端に位置し、西に阿武隈高地、東は太平洋、中央に田園地帯が広がっており、温暖な気候を生かし稲作の他、りんご・イチゴの栽培が盛んにおこなわれております。また、磯浜漁港から水揚げされるホッキ貝は、全国屈指の味覚を誇り、好評を得ております。

このような豊かな自然や文化などの特性を活かしながら、ゆとりと豊かさを実感できるふるさとづくりを目指して、道路整備を中心に各種施策を展開しているところでありますが、当町の道路整備状況は依然として低く、地域の振興と安全な日常生活の確保を図るために、今後とも道路整備を進めていくことが重要課題となっております。

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

21世紀の国土づくりに当たり、高速自動車国道をはじめとする高規格幹線道路網1万4千キロメートルのネットワークは、国民生活の向上、活力ある国土形成や災害時における緊急輸送、救急医療などにとって欠くことのできない重要な社会基盤施設であります。

特に、常磐自動車道は、首都圏及び東関東と東北の太平洋沿岸地域を結ぶ、国土の骨格を形成する高規格幹線道路であり、全国有数の電源立地地帯を抱え、さらに、発生確率の高まる宮城県沖を震源とする地震や、近年頻発している台風、豪雨等の自然災害等の緊急時における避難・輸送路として、また、東北自動車道の災害時等における代替え・迂回路としてのネットワーク機能を有すると共に、沿線地域の産業・経済・文化・観光などの発展に大きな効果をもたらし、豊かで住みよい郷土と活力ある経済活動の重要な役割を担うものと大きな期待が寄せられております。

一方、当地方の救急医療の際には、仙台市やいわき市の高次医療対応病院への搬送に要する時間短縮の上から命のネットワークとして、常磐自動車道の全線開通を切望する声が強く寄せられており、沿線自治体として、特に、常磐自動車道における富岡～亶理間の早期全線供用を強く要望いたします。

2. その他、道路政策や道路整備・管理全般に関する意見

・新阿武隈橋、亶理大橋、槻木大橋の完成や東部道路亶理 IC の完成など、交通網の整備が着実に進展し、亶理・山元両町を縦断する国道 6 号は、朝夕のラッシュ時には勿論のこと、終日車両等の交通量が著しく増加しており、交差点での右折車による渋滞や交通事故が多発している現状にあります。また、歩行者・自転車通行者の安全確保のため自歩道の拡充設置が必要でありますので、特段のご配慮を賜りますよう強く要望いたします。

・主要地方道相馬亶理線は、本町の海岸線を縦断する重要な県道であります。全国有数の電源立地地帯である相馬中核工業団地や重要港湾相馬港への輸送路ともなっており、大型車両等の交通量も多く未改良部分での交通事故も頻発している現状にあります。特に、本町の北部であります、牛橋地区は、歩道がなく児童生徒の安全な通学路を確保するため、早急な歩道設置が必要でありますので、特段のご配慮を賜りますよう強く要望いたします。